

文教委員会資料

請願第 30 号

「教科用図書選定審議会の公開を求める請願」について

資料 1 - 1 教科書採択の方法

資料 1 - 2 教科用図書の採択手順（小・中学校）
フロー図

資料 2 川崎市教科用図書選定審議会について

資料 3 川崎市教科用図書選定審議会要綱

参考資料 1 学校・種目別教科用図書調査研究報告書

参考資料 2 採択地区別調査研究報告書（一部抜粋）

参考資料 3 調査研究報告書（一部抜粋）

参考資料 4 平成 28 年度使用教科用図書審議結果
（一部抜粋）

平成 29 年 3 月 13 日

教育委員会

教科書採択の方法

1 採択の権限

地方教育行政の組織及び運営に関する法律及びその他関係法令に基づき、教育委員会がその責任と権限のもと、公正かつ適正に実施するものとする。

※ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条第 6 号

教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

(1) ～ (5) 略

(6) 教科書その他の教材の取扱いに関すること。

以下 略

2 採択の透明化

教育委員会は、採択の公正確保に向けて、採択方針及び採択手順を事前に定め公表するものとする。また、教育委員会における採択は公開するとともに、教科用図書選定審議会報告書等の資料については採択終了後に公開するなど、採択の透明化に努めるものとする。

3 静ひつな採択環境の確保

教科用図書の採択を公正かつ適正に行うため、教科用図書について誹謗・中傷等が行われ
る中で採択がされたり、外部からの不当な働きかけ等により採択が歪められたなどの疑念が
抱かれたりすることのないよう、静ひつな採択環境を確保するものとする。

※ 文部科学省通知（参考）《一部抜粋》

「平成 28 年度使用教科書の採択について（通知）」（平成 27 年 4 月 7 日付け）27 文科初第 91 号

2 教科書採択の公正確保について

(1) 略

(2) 採択教科書の決定に当たっては、教職員の投票によって決定されるようなことはもとより、十分な審議や調査研究を経ずこれまでの慣例のみによって決定されるなどにより、採択権者の責任が不明確になることがないように、採択手続の適正化に努めること。

また、静ひつな採択環境を確保するため、外部からの働きかけに左右されることなく、採択権者の権限と責任において公正かつ適正な採択を行うこと。円滑な採択事務に支障をきたすような事態が生じた場合や違法な働きかけがあった場合には、各採択権者が警察等の関係機関と連携を図りながら、毅然とした対応をとること。

以下略

4 調査審議の観点

「教育基本法」、「学校教育法」の理念の実現に向けて、主に学習指導要領との関連、編集の趣旨と工夫、内容、構成・分量・装丁及び表記・表現の観点から検討して最も適切と思われるものを採択する。

川崎市教科用図書選定審議会について

1 審議会の概要

- 教科用図書の審議を行うため、川崎市附属機関設置条例に基づき川崎市教科用図書選定審議会を設置し、教育委員会が教科用図書の調査審議を諮問する。
- 審議会は、その下に設置する調査研究会からの報告を参考にする一方、審議会独自の立場で審議した上で教育委員会に報告する。

※川崎市附属機関設置条例 別表第2（第2条～第5条関係） 教育委員会の附属機関

附属機関	所掌事務	委員の定数	委員の構成	委員の任期
川崎市教科用図書選定審議会	市立学校において使用する教科用図書の選定に関して調査審議すること。	20人以内	(1) 学識経験者 (2) 学校教育の関係者 (3) 市職員	1年

2 川崎市教科用図書選定審議会を非公開としている理由

- 教科用図書の採択については世間一般に広く関心が寄せられており、審議会を公にすることにより発言者を特定することができてしまい、場合によっては誹謗・中傷・いやがらせ等が起こる可能性があり、そのために自由・活発な議論をすることができなくなる恐れがあることから、教科用図書選定事務の性質上、当該事務の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるものと考えられるため、審議会は非公開としている。

川崎市審議会等の会議の公開に関する条例第5条―抜粋―

- ・審議会等は、会議に諮り、審議等の内容が次の各号に掲げる事項のいずれかに該当するおそれがあると認めるときは、その会議の全部又は一部を非公開とすることができる。
- (4) 市の機関又は国、独立行政法人等、他の地方公共団体、地方独立行政法人、指定出資法人若しくは指定管理者が行う事務又は事業に関する事項であつて、公にすることにより、次に掲げるおそれその他当該事務又は事業の性質上、当該事務又は事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるもの

川崎市教科用図書選定審議会要綱

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、川崎市附属機関設置条例（平成 27 年川崎市条例第 1 号。以下「条例」という。）第 2 条の規定に基づき設置する川崎市教科用図書選定審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関し、条例に定めがあるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(調査研究会)

第 2 条 審議会の下に、調査研究員で構成する調査研究会を置く。

2 調査研究員は、教員のうちから必要な人員を教育委員会が任命するものとする。

3 調査研究員は、教科用図書の選定に関し、内容の調査研究及び各学校からの意見の集約（以下「調査研究等」という。）を行うものとする。

4 調査研究会は、調査研究等を取りまとめ、審議会に報告するものとする。

(教育委員会への報告)

第 3 条 委員長は、審議会で審議した結果を教育委員会に報告する。

(庶務)

第 4 条 審議会の庶務は、教育委員会事務局学校教育部指導課において処理する。

附 則

この要綱は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

地区名：第 2 地区

学校・種目別教科用図書調査研究報告書

学校名：川崎市立 [] 中学校（学校番号 []）

種 目	音楽（一般）
発行者の番号・略称	17 教出
書名	中学音楽

上記の教科書を次の3つの観点から研究し、必ず何らかの意見をお書きください。
 その際も、単に「良い」「悪い」等とする表現は避け、どこがどう良く又は悪いのかを
 具体的に記入してください。

・内容	各単元や教材の学習ポイントが明確に示されており、 全編を通じて学習ポイントに沿った形式や楽曲の特徴が 的確に示されており、理解しやすいように工夫されている。 西洋音楽は時代背景ととらえ工夫されており、時代の振りを 理解しやすそうに学習させられている。
・構成・分量・装丁	全編を通じて、表現と関連付けて図や写真が工夫 されている。 明るい配色で生徒の興味を引くような工夫されている。
・表記・表現	生徒が学ばせる理解しやすい言葉で示されている。

地区名：第3地区

学校・種目別教科用図書調査研究報告書

学校名：川崎市立 [] 中学校（学校番号 []）

種目	音楽（一般）
発行者の番号・略称	27 教芸
書名	中学生の音楽

上記の教科書を次の3つの観点から研究し、必ず何らかの意見をお書きください。
 その際も、単に「良い」「悪い」等とする表現は避け、どこがどう良く又は悪いのかを
 具体的に記入してください。

・内容	歌唱・鑑賞、伝統音楽共に教材が豊富に 取り上げられている。各教材の目標（演奏の技術）も明確 でわかりやすい。鑑賞では楽譜・図・表が示し、学習活動 の身がかりとなる内容が工夫されている。
・構成・分量・装丁	学習Mapにより各教材の関連性が わかりやすい構成となっている。
・表記・表現	学習Mapにおきおき工夫により各領域の関連性 が把握しやすい。音楽要素が美しいP22で表示 し中におき参考にしやすい。写真や図の配置も工夫されている。

採択地区別調査研究報告書

音楽(一般) 第1地区

発行者の番号 略称	書名	生徒及び地域の特徴	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの	・川崎市の南部、臨海部に位置し、江戸時代から宿場町として開かれていたところである。川崎市役所や区役所のほかに教育文化会館や裁判所、税務署など、市や県、国の公共施設が集まっている。 ・個性豊かで、活発に活動をする生徒が多く、音楽の学習においては素直に自らの思いを表現活動に生かしている。	[[共通事項]の扱いと学習意欲の喚起] ・題材に関連性があり、学びを連続させ系統立てた学習をするのにふさわしい。 【歌唱共通教材】 ・歌唱共通教材では、写真を大きく効果的に用いて曲をイメージしやすいよう工夫されている。 ・共通教材の資料が充実し、多方面からねらいに迫ることができ、幅広い学習に対応している。 【鑑賞】 ・鑑賞教材の解説がわかりやすく、写真も多く、充実している。 【創作】 ・創作の学習では、段階を踏んだ旋律づくりを扱い、ワークシートも工夫され指導がしやすい。 【その他】 ・発声の記載がわかりやすい。	【構成】 ・各題材ごとにわかりやすく構成され、授業での多様な指導に適している。 【分量】 ・ページ数が多く感じるが、曲のイメージを表した写真で導入しやすい。 【装丁】 ・大きめサイズで見やすく、表紙の色が鮮やかで目をひきやすい。 ・見開きの折込みカラーページは見やすいが、破れたり折れたりする可能性が高い。	【表記】 ・落ち着いた色あい、表記になっている。 ・記号・用語のページは細かく分類されているため、理解しにくい。 【表現】 ・全体的にカラフルで、興味を持たせるように工夫している。
27 教芸	中学生の音楽1 中学生の音楽2・3上 中学生の音楽2・3下		[[共通事項]の扱いと学習意欲の喚起] ・「音楽学習マップ」にねらいや共通事項、学習内容が記載されていてわかりやすい。 ・3年間を見通した学習内容となっており、各領域で系統だてている。 ・合唱曲のレパートリーが幅広く、生徒の興味・関心を引く魅力的な楽曲が多い。 【鑑賞】 ・鑑賞教材の資料が口絵なども含め、とても充実した内容になっている。 【創作】 ・創作のページに例が記載されており、平易で取り組みやすいよう工夫されている。 【その他】 ・ビンゴゲームやリズムゲームのページで、楽典などについても楽しく学ぶことができるよう工夫されている。	【構成】 ・鑑賞ページについても長くなりすぎず、2ページから4ページで収まるように工夫している。 ・レイアウトが統一されていて、タイトルや作曲者名を探しやすい。 ・見開きの資料の内容が充実している。 【装丁】 ・表紙の絵では、学年ごとの違いがはっきりせず間違いない。	【表記】 ・記号、用語のページがシンプルでわかりやすい。 ・ねらいやジャンルなどが、明確に表記されている。 【表現】 ・イラストや写真を多く取り入れ、文章表現もわかりやすい。

採択地区別調査研究報告書

音楽(一般) 第2地区

発行者の番号 略称	書名	生徒及び地域の特徴	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの	・住宅地が多く点在する地域である。 等々力緑地や夢見ヶ崎動物公園など、豊かな自然に恵まれているとともに、川崎市市民ミュージアムや川崎シンフォニーホールなど川崎市全体の中でも文化的な環境にも恵まれている。 ・明るく素直な生徒が多く、音楽の学習においても、関心をもちながら楽しんで表現活動する姿が見られる。	【【共通事項】の扱いと学習意欲の喚起】 ・各題材や教材の学習ポイントが明確に示されており、学習の見通しをもちやすい。 ・生徒が気付いたことや感じ取ったことを互いに話し合ったり、自分なりの価値観を伝え合ったりするコーナーが設定されている。 【歌唱共通教材】 ・作詞家や作曲家からのメッセージが掲載されていたり、色彩豊かな写真を用いることでイメージをもちやすいように工夫されている。 【鑑賞】 ・学習のポイントに沿った形式や楽曲の特徴が丁寧に示されている。 【我が国の伝統音楽】 ・越天楽と歌舞伎を鑑賞だけでなく、体験できる工夫がされている。 ・民謡・芸能の扱いが見開きカラーページで充実している。 【創作】 ・「創作のページ」の内容が、創作の手順を示し、ワークシートも記載され充実している。	【構成】 ・表現及び鑑賞の幅広い音楽活動を展開することをねらいとし、基礎・広がり・活用の「三つの柱」で構成されている。 【分量】 ・「歌のアルバム」の歌唱教材が取り組みやすい分量である。 【装丁】 ・ユニバーサルデザインへの配慮がある。	【表記】 ・判読しやすい明るい配色やレイアウトになっている。 ・西洋音楽史の区分(バロックや古典)の表記がある。 【表現】 ・中学生が学びやすく、理解しやすい言葉で示されている。 ・表現方法、文字などに工夫があり見やすい。 ・共通教材の写真がどれも美しい。
27 教芸	中学生の音楽1 中学生の音楽2・3上 中学生の音楽2・3下		【【共通事項】の扱いと学習意欲の喚起】 ・共通事項との関連を各教材の学習目標などに準じて「学習の窓口」として例示し、共通事項を支えとした学習が確実に実行されるように工夫されている。 【歌唱共通教材】 ・小学校の歌唱共通教材が中学校でも編成を変えて使用できる。また、学年ごとの配置に無理がなく、指導しやすい。 【鑑賞】 ・鑑賞の学習のポイントが明確に示され、写真や楽譜の資料が充実している。また、音楽史と日本史を関連づけ、ねらいを明確にして鑑賞できるような工夫がされている。 【創作】 ・創作の学習では、創作の手順が分かりやすく、ポイントが絞られている。 ・日本の音階を使った創作ができる工夫がある。	【構成】 ・共通事項と関連づけながら、より具体的な観点に基づいた学習が出来るよう工夫されている。 ・教科書に書き込みながら学習できる構成である。 ・挿絵が曲を連想させ、生徒がイメージをもちやすい。 【装丁】 ・ユニバーサルデザインを意識した、落ち着いた配色やレイアウトである。	【表記】 ・共通事項と関連づける表記がされている。 ・教材そのものの難易度や文章の分かりやすさに配慮されている。 ・図やイラストが多く用いられ、学習内容や目標がわかりやすく表記されている。 ・学習の見出しやポイントのフォントが大きく見やすい。 【表現】 ・重要な学習事項が優先的に目に入るようなシンプルなデザインである。 ・色使いが工夫されている。

採択地区別調査研究報告書

音楽(一般) 第3地区

発行者の番号 略称	書名	生徒及び地域の特徴	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの	・緑豊かな丘陵地では、自然あふれる風景が見られる環境であるとともに、多摩川沿いの平地の駅周辺では商業地や住宅地が広がる。 ・高津区にある音楽大学との連携によって学生による演奏に触れる機会をもてる。 ・保護者の学校への関心が高く、地域によっては、低学年のうちからピアノなどの楽器を習っている生徒が比較的多い。また、音楽学習に対して前向きに活動したり、学び合ったりする姿が見られる。	<p>【共通事項】の扱いと学習意欲の喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間を通して、音楽の諸要素を捉えながら、様々な音楽文化に親しみ、歌ったり、聴いたり喜びを体感できる内容になっている。 <p>【歌唱共通教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱共通教材の学習では、その曲の背景や作曲者の説明が充実しており、鑑賞としても扱うことができる内容である。 <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞では、楽譜が大きく使われ、音楽の諸要素に注目するようなワークシートも含まれており、共通事項との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。 <p>【創作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作では、活動の流れがていねいに図で示されている。 <p>【我が国の伝統音楽】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統音楽の学習では、説明内容が多岐にわたっており、他の資料によらず幅広く学習内容となっている。 	<p>【構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教材のページに、学指導要領に示された音楽科における学習内容と各教材の関連を上げている。 ・楽譜と解説に分かれており、楽曲に集中できるようにできている。 ・基礎、広がり、活用の柱が分かりやすく掲げられている。 ・合唱楽譜のページに表現記号の解説欄などがあり、わかりやすく構成されている。 ・鑑賞では、右端に時代区分のインデックスがあり、時代を意識しながら学習できるように示されている。 	<p>【表記】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラフルな表示で、テーマ別の教材関連性がわかりやすく表示されている。 ・「花」など縦書きの歌詞が大きく表示されている。 ・共通事項やねらいが、縦書きの文字表現で見づらく、難しく感じる表記の仕方である。 ・全体的な説明はゴシック、細かい説明は明朝体で書かれており、工夫されている。
27 教芸	中学生の音楽1 中学生の音楽2・3年上 中学生の音楽2・3年下		<p>【共通事項】の扱いと学習意欲の喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された音楽科における学習内容と各教材の関連が「音楽学習MAP」に明確に示されている。 ・学ばせるための目的、目標がコンパクトに記入されているので、指導の参考になる。 <p>【歌唱共通教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱共通教材に共通の学習目標が掲げられていて、世代を超えて親しみ、歌い継いでいくということがわかる。 <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞では、楽譜、図、表が示され、学習活動の手がかりとなる内容が工夫されている。 ・鑑賞の導入として創作に結び付け、図を工夫しながら取り組みやすく工夫されている。 <p>【我が国の伝統音楽】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の民謡を歌唱教材として取り上げ、我が国の伝統的な歌唱の学習が確実に行えるように配慮されている。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱のページに楽譜以外の情報(作曲、作詞者の思いなど)が入っているとさらによい。 ・全校合唱ができる「ふるさと」があり、活用しやすい。 	<p>【構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8年間で共通事項などを発展的に取り入れられる。 ・「音楽学習MAP」により、各教材の関連性がわかりやすい構成となっている。 ・写真や挿絵など、曲の雰囲気に合わせて工夫されている。 ・鑑賞と創作、伝統音楽と創作など関連する教材が並んでいて、指導の流れがわかりやすく工夫されている。 <p>【装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すっきりと明るい雰囲気での学習する気持ちが高まるつくりである。 	<p>【表記】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜や歌詞、資料が見やすく表記されている。 ・「音楽学習MAP」による表示が工夫されていて、各領域の関連性が把握しやすい。 ・音楽的な要素が美しいアイコンで表示され、参考にしやすい。 ・鑑賞の「注目してみよう！」で観点がはっきりする。 <p>【表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトが美しく、統一感がある。

採択地区別調査研究報告書

音楽(一般) 第4地区

発行者の番号 略称	書名	生徒及び地域の特色	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの	<ul style="list-style-type: none"> ・「芸術のまち」と呼ばれる新百合ヶ丘周辺では、子どもたちや音楽活動を楽しむ社会人と音楽大学とが連携した芸術祭が開かれ、芸術文化に触れる機会をもてる環境である。 ・ピアノや他の楽器の音楽教室に通っている生徒が多く、音楽学習においても前向きに取り組み、音楽表現の工夫をしたり、音楽を味わって聴いたりする姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【共通事項】の扱いと学習意欲の喚起 ・「指揮をしてみよう」のページに、3年間のステップアップを見通した具体的な方法が記載されている。 ・【鑑賞】 <ul style="list-style-type: none"> ・時代や曲種等に偏りのない幅広いジャンルの中から教材が選択されている。 ・鑑賞曲「モルダウ」は、8/6拍子の楽曲で1年生には難しい。 ・時代区分を意識して、学習できるように示されている。 ・各鑑賞曲に聴くポイントが示され、目的をもって聴くことができる。 ・【創作】 <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら創作できるように、手順がわかりやすく説明されている。 ・【我が国の伝統音楽】 <ul style="list-style-type: none"> ・口絵に和楽器の詳しい写真があり、興味・関心を引く。 ・伝統的な歌唱については、民謡を取り上げ、発声まで扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【構成】 <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の目標及び内容を、具体的な活動を通して達成することをねらいとした構成である。 ・写真と楽譜が混在している。 ・間に折り込みを入れる工夫がなされている。 ・時代区分のインデックスが示されている。 ・創作や合唱曲のページが豊富になった。 ・【装丁】 <ul style="list-style-type: none"> ・すっきりとしており、格調が高い。 ・全体に明るい色調だが、特に合唱曲のページが、目にやさしい落ち着いた色である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【表記】 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴシックと明朝体を使い分け、見やすく工夫されている。 ・歌唱の縦書きの歌詞が大きく見やすい。 ・子どもの感性が高まるようなイメージしやすい写真を使用している。 ・楽譜が大きくて見やすく、カラフルな色使いである。 ・ヒントとなる写真や絵、言葉が適切でわかりやすい。
27 教芸	中学生の音楽1 中学生の音楽2・3上 中学生の音楽2・3下		<ul style="list-style-type: none"> ・【共通事項】の扱いと学習意欲の喚起 ・「指揮をしてみよう」のページは、わかりやすく実用的で生徒に指導しやすい。 ・「音楽学習MAP」で歌唱、創作、鑑賞の関連が丁寧に記載されている。 ・全ての教材に学習目標を示してあり、学習の観点が明確になった内容である。 ・【鑑賞】 <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の学習ページに日本の時代と照らし合わせる内容が加わり、生徒の興味を引く。 ・【創作】 <ul style="list-style-type: none"> ・創作の学習は、学年段階に応じた指導内容となっていて、ヒントや書き込み式などの工夫がある。 ・和音の音を使って旋律を作る題材、言葉によるリズムアンサンブルの題材があり取り組みやすい。 ・「創作」の学習などを通して、個人の創造性を培いながらグループ活動等で他と「協働」して学習できる。 ・【我が国の伝統音楽】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本音楽のページが増え、充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【構成】 <ul style="list-style-type: none"> ・題材名の横に、何を意識して学習するのか記号がつけられている。 ・歌唱、創作、鑑賞教材のセクションでは、全ての教材に学習目標と具体的な学習活動が示されている。 ・合唱曲の掲載曲が多いが、生徒の実態に合わせて選択できる。 ・【装丁】 <ul style="list-style-type: none"> ・合唱譜の音符の大きさ五線の太さが的確である。 ・ユニバーサルデザインを意識した落ち着いた配色や、レイアウトの工夫がみられる。 ・糸綴じで開きやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【表記】 <ul style="list-style-type: none"> ・共通事項が様々な形で網羅されていてよい。 ・鑑賞曲「春」の楽器の写真が明瞭でない部分がある。 ・【表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・「～しよう」など、生徒の意欲を誘う表現が多い。 ・写真が多く、教材に関心をもって取り組めるように工夫されている。 ・写真と文字のバランスがよく見やすい。写真のサイズや画質の明るさも適している。

調査研究報告書

音楽(一般)

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	<p>中学音楽 1 音楽の おくりもの</p> <p>中学音楽 2・3上 音楽の おくりもの</p> <p>中学音楽 2・3下 音楽の おくりもの</p>	<p>・学習指導要領の音楽科の目標に示されている「音楽に対する感性」及び「音楽活動の基礎的な能力」に関連して、学習のねらいに即した学習のポイントが、各教材の左ページに2つの文で示されている。</p> <p>・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「日本の民謡」「箏曲」「雅楽」「歌舞伎」「能」「文楽」などの教材が取り上げられ、その歴史や内容、特徴、舞台表現などの写真が掲載されている。</p>	<p>【[共通事項]の扱いと学習意欲の喚起】</p> <p>・「どんな特徴の学習があるのかな？」の学習では、変奏曲を例に共通事項に着目し、気付いたこと感じたことを話し合う学習が組み込まれている。</p> <p>【歌唱共通教材】</p> <p>・我が国で長く歌われ親しまれている歌曲を歌唱の共通教材として取り上げるにあたり、見開きの写真や縦書き歌詞、作者の言葉などを掲載しており、曲の背景や歌詞の内容を理解しやすいように配慮しているため、歌唱のみならず鑑賞教材としても扱うことができる。また、その歌曲を教材とした指揮法の学習が続くことで、情感を込めた歌唱表現につなげる工夫がある。</p> <p>【鑑賞】</p> <p>・鑑賞の活動に関して、音楽の要素を感じ取るための投げかけの言葉を記述している。また、生徒が感じ取ったことを書き込めるスペースを設けて、根拠をもって批評する言語活動につなげる工夫がなされている。</p> <p>【創作】</p> <p>・創作の学習では、「音のスケッチ」の中で、学年に応じた旋律づくりを扱い、創作の手順が明確に示されている。また、ワークシートはどれも生徒の関心を引く内容となっている。</p> <p>【我が国の伝統音楽】</p> <p>・我が国や郷土の伝統音楽について、折り込みカラー3ページの構成で資料を豊富にそろえてあり、鑑賞だけでなく、それぞれの音楽の特徴をより深く味わうための体験的学習活動(表現活動や創作)が設定されている。</p> <p>【その他】</p> <p>・音楽著作権について、「MP3」による音楽配信等について、詳しく記載されている。また、アウトリーチや音楽療法などを紹介し、生涯学習としての音楽について知らせている。</p> <p>・巻頭の「With My Heart」のコーナーでは、演奏家や作曲家たちからの示唆に富んだメッセージが掲載されている。</p>	<p>【構成】</p> <p>・各学年とも、「音楽の要素をとらえる」「さまざまな音楽文化に親しむ」「歌い合わせ聴き深める喜び」の三部構成とし、それぞれの教材がどれに当たるかを色分けして示している。</p> <p>・巻末には、学習資料と合唱曲や参考曲の「歌のアルバム」を掲載している。</p> <p>【分量】</p> <p>・各学年の総ページ数は83ページ。</p> <p>【装丁】</p> <p>・判型はAB版である。</p> <p>・「この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮して、見やすいカラーデザインになっています。また、環境にやさしい再生紙と植物油インクを用い、印刷はグリーン電力を使用しています。」と表記されている。</p>	<p>【表記】</p> <p>・全体的に見やすくすっきりとしたレイアウトである。配色に工夫があり、視認性が高い。</p> <p>・新たな音楽用語が出てきた際に、それらに着目して学習できるように表記されている。</p> <p>・楽譜の記載されているページと説明・解説のページを明確に分けて組んであり、見やすく楽曲に集中しやすい表記となっている。</p> <p>・鑑賞では、全学年全曲の右端に作曲年代を示す表記があり、西洋音楽と日本の音楽とのリンクがしやすい。</p> <p>【表現】</p> <p>・カラー写真の見開きページが充実しており、生徒が表現のイメージを深めることが期待できる。</p> <p>・肖像で見る音楽年表は日本の作曲家も含まれ、生徒の興味をひくレイアウトになっている。</p>
27 教芸	<p>中学生の 音楽 1</p> <p>中学生の 音楽 2・3 上</p> <p>中学生の 音楽 2・3 下</p>	<p>・学習指導要領の音楽科の目標に示されている「音楽に対する感性」及び「音楽活動の基礎的な能力」に関連して、目次と見開きページの冒頭に学習のねらいが記載され、各教材に関わる[共通事項]がマークで示されている。</p> <p>・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「伝統や文化」に関連して、「箏曲」「尺八曲」「日本の民謡」「歌舞伎」「文楽」「日本の郷土芸能」「雅楽」「能」などの教材が取り上げられ、その歴史や内容、特徴、舞台表現などの写真が掲載されている。</p>	<p>【[共通事項]の扱いと学習意欲の喚起】</p> <p>・音楽学習MAPには共通事項がわかりやすく示されており、それぞれの教材で何を学習するかが確認できるよう工夫されている。</p> <p>【歌唱共通教材】</p> <p>・我が国で長く歌われ親しまれている歌曲を歌唱の共通教材として取り上げるにあたり、日本の自然や四季の変化を感じ取り、日本語のもつ美しさを味わえるように「心の歌」として位置付けて、各学年にわたって掲載している。</p> <p>【歌唱・合唱】</p> <p>・小学校で共通教材として学習した「ふるさと」を変声等の発達段階に応じて全校で取り組めるよう各学年用に編曲して掲載している。</p> <p>・中学生の心情に合った合唱曲の教材選択であり、3年間を見通して変声期の声域の変化にも配慮した配列になっている。</p> <p>【鑑賞】</p> <p>・鑑賞の活動に関して、楽曲を発展的な学習に広げる参考資料が多く掲載されていることから、総合的に音楽を味わい、根拠をもって感想を述べるなどの言語活動へとつながるような工夫がなされている。</p> <p>【創作】</p> <p>・創作について、リズムアンサンブル、図形を用いた記録、和音構成・言葉の抑揚をもとにした旋律づくりなどポイントをしぼった学習活動が具体的に示されている。</p> <p>【その他】</p> <p>・梵鐘と立石寺を例に「音と静寂」という日本の感性に気付かせる記述や自然音や環境音の取扱いなど、音楽が生活の中で果たす役割、生活に生かす発想について目を向けるコメントが掲載されている。</p> <p>・指揮をする時のポイントは学年ごとに難易度が上がるようになっている。また、技能面に関する資料だけでなく、自己のイメージや思いを伝える方法を示している。</p> <p>・音楽著作権について、ポイントを絞り、すっきりとわかりやすく解説されている。</p>	<p>【構成】</p> <p>・目次はすっきりと見やすく、題材名が明確になっている。</p> <p>・前半に表現活動がまとめられ、中間に鑑賞教材が配置され、巻末に生徒の状況に応じて選択できる合唱曲と楽典等の学習資料がまとめられている。</p> <p>・創作や鑑賞の題材にワークシート形式のページが取り入れられ、教科書を使って思考力を深める構成となっている。</p> <p>【分量】</p> <p>・各学年の総ページ数は80ページ。</p> <p>【装丁】</p> <p>・判型はAB版である。</p> <p>・「ユニバーサルデザイン」への取り組みとして、「全ての生徒の色覚特性に適合することを目指してデザインしています。」「特別支援教育の観点から、学習上重要な情報を確実に読み取れるようにしています。」と表記されている。</p>	<p>【表記】</p> <p>・それぞれの教材で扱う[共通事項]をマーク化したものが、題材名とともに各教材に示されている。</p> <p>・合唱楽譜における音符の大きさ、五線の太さ、楽譜の段と段の間隔が適切で、生徒が見やすい。</p> <p>・巻末の「心通う合唱」では、各曲のポイントが[共通事項]と関連させながら解説されている。</p> <p>【表現】</p> <p>・口絵の写真が美しく、楽器に関しては特に大きくわかりやすくなっている。</p> <p>・学習のポイントが各教材に明確に示されており、写真選択が的確である。曲のイメージにあった挿絵、写真、イラストが多く、生徒が親しみをもてるようになっている。</p>

平成28年度使用教科用図書審議結果

音楽(一般)

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た各地区の特性	<p>・川崎市の南部、臨海部に位置し、江戸時代から宿場町として開かれていたところである。川崎市役所や区役所のほかに教育文化会館や裁判所、税務署など、市や県、国の公共施設が集まっている。</p> <p>・個性豊かで、活発に活動をする生徒が多く、音楽の学習においては素直に自らの思いを表現活動に生かしている。</p> <p>・音楽を知覚・感受する過程を大切にし、どのように音楽表現するかについて思いをもったり、鑑賞したりできるようにしていきたい。また、音楽的な感性を高めるとともに、思いやりの気持ちや豊かな心を育てたい。</p>	<p>・住宅地が多く点在する地域である。等々力緑地や夢見ヶ崎動物公園など、豊かな自然に恵まれているとともに、川崎市市民ミュージアムや川崎シンフォニーホールなど川崎市全体の中でも文化的な環境にも恵まれている。</p> <p>・明るく素直な生徒が多く、音楽の学習においても、関心をもちながら楽しんで表現活動する姿が見られる。</p> <p>・音楽を知覚・感受する過程を大切にし、どのように音楽表現するかについて思いをもったり、鑑賞したりできるようにしていきたい。また、音楽的な感性を高めるとともに、思いやりの気持ちや豊かな心を育てたい。</p>	<p>・緑豊かな丘陵地では、自然あふれる風景が見られる環境であるとともに、多摩川沿いの平地の駅周辺では商業地や住宅地が広がる。</p> <p>・高津区にある音楽大学との連携によって学生による演奏に触れる機会をもてる。</p> <p>・保護者の学校への関心が高く、地域によっては、低学年のうちからピアノなどの楽器を習っている生徒が比較的多い。また、音楽学習に対して前向きに活動したり、学び合ったりする姿が見られる。</p> <p>・音楽を知覚・感受する過程を大切にし、どのように音楽表現するかについて思いをもったり、鑑賞したりできるようにしていきたい。また、音楽的な感性を高めるとともに、思いやりの気持ちや豊かな心を育てたい。</p>	<p>・「芸術のまち」と呼ばれる新百合ヶ丘駅周辺では、子どもたちや音楽活動を楽しむ社会人と音楽大学とが連携した芸術祭が開かれ、芸術文化に触れる機会をもてる環境である。</p> <p>・ピアノや他の楽器の音楽教室に通っている生徒が多く、音楽学習においても前向きに取り組み、音楽表現の工夫をしたり、音楽を味わって聴いたりする姿が見られる。</p> <p>・音楽を知覚・感受する過程を大切にし、どのように音楽表現するかについて思いをもったり、鑑賞したりできるようにしていきたい。また、音楽的な感性を高めるとともに、思いやりの気持ちや豊かな心を育てたい。</p>

川崎の子どもが学習をすすめていく上での視点	<p>○楽しく音楽の学習に取り組むことができ、感性を高め、音楽を愛好する心情を育てることができる内容、構成等であること。</p> <p>○生徒が知覚・感受する一連のプロセスを大切にしたり、学びのある授業を展開することができる内容、構成等であること。</p> <p>○「音楽のまち かわさき」として、郷土を愛する気持ちや、思いやりの心を育てることができる内容、構成等であること。</p>
-----------------------	--

音楽(一般)

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と 工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学音楽1 音楽の おくりもの 中学音楽 2・3上 音楽の おくりもの 中学音楽 2・3下 音楽の おくりもの	・表現や鑑賞の学 習を通して、知識 や教養、基礎的 な能力を伸ばし、 各指導事項に即 した構成・内容が 工夫されている。 ・我が国の伝統的 な音楽や日本の 歌に親しみ、他国 を尊重する気持 ちを育む学習が 工夫されている。 ・音や音楽への興 味・関心を養い、 創造性を培うよ うな工夫がされて いる。 ・歌い合わせ聴き 深める活動を通 じて、自他の敬愛と 協力を重んずる 気持を育む学習 が工夫されている。	・学習指導要領の音楽科の目標に 示されている「音楽に対する感性」 及び「音楽活動の基礎的な能力」に 関連して、学習のねらいに即した学 習のポイントが、各教材の左ページ に2つの文で示されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な 改善事項である「伝統や文化に関 する教育の充実」に関連して、「日 本の民謡」「箏曲」「雅楽」「歌舞伎」 「能」「文楽」などの教材が取り上げ られ、その歴史や内容、特徴、舞台 表現などの写真が掲載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な 改善事項である「道徳教育の充実」 に関連して、「コンピュータと音楽」 や「わたしたちのくらしと音楽」で著 作権について記載されている。「音 のスケッチ」では、グループで話し 合い、協力しながら創り上げる学習 活動が設けられている。	【基礎・基本】 ・「どんな特徴の学習があるのかな？」の学習では、変奏曲を例に[共通事項]に着 目し、気付いたことと感じたことを話し合う学習が組み込まれている。 【思考力・判断力・表現力】 ・鑑賞の活動に関して、音楽の要素を感じ取るための投げかけの言葉を記述してい る。また、生徒が感じ取ったことを書き込めるスペースを設けて、根拠をもって批評す る言語活動につなげる工夫がなされている。 ・創作の学習では、「音のスケッチ」の中で、学年に応じた旋律づくりを扱い、創作の 手順が明確に示されている。また、ワークシートはどれも生徒の関心を引く内容と なっている。 【我が国の伝統音楽と歌唱共通教材】 ・我が国や郷土の伝統音楽について、折込カラー3ページの構成で資料を豊富にそ ろえてあり、鑑賞だけでなく、それぞれの音楽の特徴をより深く味わうための体験的 学習活動(表現活動や創作)が設定されている。 ・見開きの写真や縦書き歌詞、作者の言葉などを掲載しており、曲の背景や歌詞の 内容を理解しやすいように配慮しているため、歌唱のみならず鑑賞教材としても扱う ことができる。また、その歌曲を教材とした指揮法の学習が続くことで、情感を込めた 歌唱表現につなげる工夫がある。 【学習意欲】 ・巻頭の「With My Heart」のコーナーでは、演奏家や作曲家たちからの示唆に 富んだメッセージが掲載されている。 ・心を合わせて表現できる合唱曲が「歌のアルバム」に掲載されている。	【構成】 ・全学年とも、「音楽の 要素をとらえる」「さま ざまな音楽文化に親し む」「歌い合わせ聴き 深める喜び」の三部構 成とし、それぞれの教 材がどれに当たるかを 色分けして示してい る。 ・巻末には、学習資料 と合唱曲や参考曲の 「歌のアルバム」を掲 載している。 【分量】 ・各学年の総ページ数 は83ページ。 【装丁】 ・判型はAB判である。 ・無線綴じである。 ・環境にやさしい再生 紙と植物油インク、印 刷はグリーン電力を使 用している。	【表記・表現】 ・全体的に見やすくすっきりとしたレイアウト である。配色に工夫があり、視認性が高 い。 ・新たな音楽用語が出てきた際に、それ らに着目して学習できるよう表記されてい る。 ・楽譜の記載されているページと説明・解 説のページを明確に分けて組んであり、 見やすく楽曲に集中しやすい表記となっ ている。 ・鑑賞では、全学年全曲の右端に作曲年 代を示す表記があり、西洋音楽と日本の 音楽とのリンクがしやすい。 ・カラー写真の折込ページが充実しており 、生徒が表現のイメージを深めることが 期待できる。 ・肖像で見る音楽年表は日本の作曲家も 含まれ、生徒の興味を引くレイアウトに なっている。 ・この教科書は、色覚の個人差を問わ ず、より多くの人に見やすいカラーユニ バーサルデザインに配慮して作られてい ます。」と表記されている。
27 教芸	中学生の 音楽1 中学生の 音楽2・3 上 中学生の 音楽2・3 下	・学習内容と[共 通事項]との関連 を「音楽学習MAP」 に示し、学習 の観点が明確に なるよう工夫され ている。 ・我が国の伝統的 な音楽や日本の 歌に親しみ、日本 人としての自覚を もつような学習が 工夫されている。 ・「創作」の学習な どを通して、主体 性や創造性を育 む学習が工夫され ている。 ・道徳教育に資す る歌唱教材を通 じて、思いやりの心 を育むような工夫 がされている。	・学習指導要領の音楽科の目標に 示されている「音楽に対する感性」 及び「音楽活動の基礎的な能力」に 関連して、目次と見開きページの冒 頭に学習のねらいが記載され、各 教材に関わる[共通事項]がマーク で示されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な 改善事項である「伝統や文化に関 する教育の充実」に関連して、「箏 曲」「尺八曲」「日本の民謡」「歌舞 伎」「文楽」「日本の郷土芸能」「雅 楽」「能」などの教材が取り上げら れ、その歴史や内容、特徴、舞台表 現などの写真が掲載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な 改善事項である「道徳教育の充実」 に関連して、特集「ルールを守って 音楽を楽しもう！」では聴いたり演奏 したりする時の著作権などについて が記載されている。 【Let's create!】では、グループに 分かれ、イメージや構成を話し合い リズムアンサンブルを創作する活動 が設けられている。	【基礎・基本】 ・「音楽学習MAP」には[共通事項]が分かりやすく示されており、それぞれの教材 で何を学習するかが確認できるよう工夫されている。 【思考力・判断力・表現力】 ・鑑賞の活動に関して、楽曲を発展的な学習に広げる参考資料が多く掲載されてい ることから、総合的に音楽を味わい、根拠をもって感想を述べるなどの言語活動へ つながるような工夫がなされている。 ・指揮をする時のポイントは学年ごとに難易度が上がるようになっている。また、技能 面に関する資料だけでなく、自己のイメージや思いを伝える方法を示している。 ・創作について、リズムアンサンブル、図形を用いた記録、和音構成・言葉の抑揚を もとにした旋律づくりなどポイントをしぼった学習活動が具体的に示されている。 【我が国の伝統音楽と歌唱共通教材】 ・日本の音楽の特徴の一つである序破急や拍のない自由なリズムを図や線で分かり やすく示している。 ・我が国で長く歌われ親しまれている歌曲を歌唱の共通教材として取り上げるにあ たり、日本の自然や四季の変化を感じ取り、日本語のもつ美しさを味わえるように「心 の歌」として位置付けて、全学年にわたって掲載している。 ・小学校で共通教材として学習した「ふるさと」を変声等の発達段階に応じて全校で 取り組めるよう各学年用に編曲して掲載している。 【学習意欲】 ・梵鐘と立石寺を例に「音と静寂」という日本の感性に気付かせる記述や自然音や環 境音の取扱いなど、音楽が生活の中で果たす役割、生活に生かす発想について目 を向けるコメントが掲載されている。 ・「心通う合唱」では、中学生の心情に合った、みんなで歌い合わせることができる合 唱曲の教材選択であり、3年間を見通して変声期の声域の変化にも配慮した配列に なっている。	【構成】 ・目次はすっきりと見や すく、題材名が明確に なっている。 ・前半に表現活動がま とめられ、中間に鑑賞 教材が配置され、巻末 に生徒の状況に応じ て選択できる合唱曲と 楽典等の学習資料が まとめられている。 ・創作や鑑賞の題材に ワークシート形式の ページが取り入れら れ、教科書を使って思 考力を深める構成と なっている。 【分量】 ・各学年の総ページ数 は80ページ。 【装丁】 ・判型はAB判である。 ・糸綴じである。	【表記・表現】 ・それぞれの教材で扱う[共通事項]を マーク化したものが、題材名とともに各教 材に示してある。 ・合唱楽譜における音符の大きさ、五線 の太さ、楽譜の段と段の間隔が適切で、 生徒が見やすい。 ・巻末の「心通う合唱」では、各曲のポ イントが[共通事項]と関連させながら解説 されている。 ・口絵の写真が美しく、楽器に関しては 特に大きく分かりやすくなっている。 ・学習のポイントが各教材に明確に示さ れており、写真選択が的確である。曲の イメージにあった挿絵、写真、イラストが 多く、生徒が親しみをもてるようになって いる。 ・「ユニバーサルデザイン」への取組とし て、「全ての生徒の色覚特性に適合する ことを目指してデザインしています。」「特 別支援教育の視点から、学習上重要な 情報を確実に読み取れるようにしていま す。」と表記されている。